

平成 24 年 11 月 13 日 00092 号

編集者:佐藤 寿春

北見武道通信

北見市幸町 8 丁目 4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-61-4804 Fax:0157-23-0581

satou.toshiharu@navy.plala.or.jp

ニュースレター【柔道連盟情報】全日本柔道連盟「公認指導者資格制度」暫定認定の最終講習会のご案内

平成 25 年度より全日本柔道連盟「公認指導者資格制度」完全導入にあたり、暫定公認に向けた最終講習会が行われます。要項は次の通りです。 ※ア、平成 4 年度柔道安全指導受講者(全道高等学校柔道大会時)イ、ア以外の受講者

日時:平成 24 年 11 月 25 日(日)9:00 受付 9:30 開講式 会場:北海道立総合体育センター「北海きたえ〜る」

内容:①実技 柔道の基本指導 10:00~12:00 ②講義 柔道の安全指導 13:00~15:00

講師:講道館七段 大川原洋、講道館六段 釜澤大毅 (柔道着着用)

申込締切日:平成 24 年 11 月 20 日(申込書と参加料※ア 1,000 円イ 3,000 を添えて)

申込み方法:〒062-0004 札幌市豊平区美園 4 条 8 丁目育英ビル(社)北海道柔道連盟事務局Tel011-813-8382

【第 17 回北見市総合武道祭レポート】③柔道 今回は北見市柔道協会理事長の西尾静男講道館六段にコメントを頂きました。「北見市柔道協会の指導者と北見練心会少年部による、



柔道の基本・醍醐味・楽しさを、日頃の稽古の一部を市民の皆様にご公開し、柔道に興味を持って頂けたらと思いました。柔道の基本となる受け身を練心会少年部の皆様に、後受け身・横受け身・前方回転受け身。その後、柔道の醍醐味を『投げ込み』という形で、取



を朝山5段、受を栗原4段・西尾4段・佐藤3段にお願いし、背負投・袖釣り込み腰・体落とし等の投げ技を計30本。最後に楽しいなかにも「礼儀正しく、元気よく」、指導者と幼児・小学生・中学生が乱取稽古を行いました。これからも武道祭を通じて、柔道の素晴らしさを伝えていきたいと思ひます。」

連載【週刊氷川丸】⑩ 氷川丸復帰までの道のり

1945(昭和20)年8月15日終戦と共に GHQ による日本占領政策(戦後処理)において、氷川丸など船舶その他多くの規制が掛けられました。武道もその一つです。GHQ は、翌年11月9日に大日本武徳会を解散させ、武道禁止令を発布しました。剣道や柔道など、学校等での武道を行うことを全面禁止しました。1951(昭和26)年、教育として武道が認められ、武道解禁(随時解禁)になりました。同時期(昭和25年)、日本郵船はシアトル定期航路の再開許可を GHQ に申請、1951(昭和26)年、月1回の定期配船が許可され、10月より貨物船 4 隻をもって同航路の配船が実施されました。一方、氷川丸は 1951(昭和 26)年 3 月より約 2 か月半をかけて大改装を行って戦前の貨客船時代の姿を取り戻し、ニューヨーク航路、欧州航路に配置され、のちにシアトル定期航路に復活することになります。その際、留学生の渡航を受け入れてほしいというフルブライト委員会からの要請があり、それを機に再び大改装を行い、船客設備の整備を進めました。1953(昭和 28)年、氷川丸は貨客船として再びシアトル定期航路に復活を果たし、留学生とその家族を乗せて横浜を出港しました。1941(昭和 16)年に休止して以来、12 年ぶりの復帰でした。 つづく 次週はサンフランシスコ平和条約と氷川丸をお伝えします

航路復帰 初出航

